

# 西中学校区小中一貫教育推進事業報告

## 1 研究主題

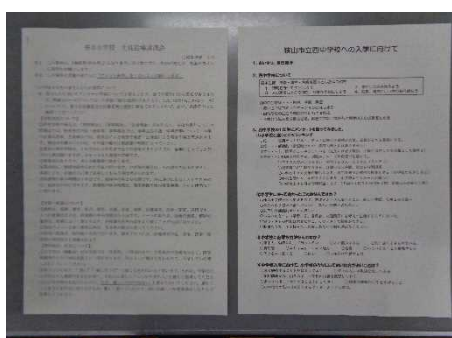
### 地域に根付いた小中の滑らかな接続を目指して ～積極的な生徒指導モデル地区～

## 2 研究への取り組み方針 —「信頼される教育」の確立を目指して—

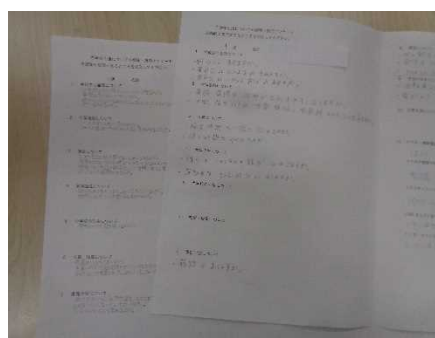
小学校から中学校への接続を円滑にすることで、学校間をつなぐ系統的かつ効果的な指導の確立を目指し、「主体的・対話的で深い学び」を通して児童生徒の基礎学力や社会の変化に主体的に対応できる力を伸ばしていく。また、「生きる力」を育むことを目指し、9年間を見通した家庭・地域・社会からの信頼される教育を推進する。

## 3 研究への取組・研究経過

新型コロナウイルス渦の逆境のなかで、例年の活動は大きく制約されることになった。本年度も4校が一度に会しての会議等は中止となった。しかし、新型コロナウイルスによる出席停止や学級閉鎖の対応、兄弟間の感染確認などこれまで以上に細密に連携をとることができた。また、6年生の中学校生活へ向けての不安や疑問・中学1年生の入学して感じた小学校との違い等をアンケートにとり、それをもとに6年生向けの説明資料を中学校で作成し、それをもとに中学校の教員による説明会を行う要諦だったが中止になり、小学校側で説明した。また、小中連絡会で綿密な打ち合わせを行い、学力向上の取組や学習規律について共通理解を深めることができた。



— 中学校作成資料 —



— 小学生へのアンケート —

### (1) 各部会の活動

#### ① 生徒指導担当部会

##### ア 4校統一の生活規律の確認

授業時のあいさつや発表の仕方、職員室の入室の仕方、清掃の仕方などの統一した指導

イ 西中生徒指導主任による情報発信…携帯電話やスマートフォンを通じての問題があり、各小中学校で共通理解の元、実例を紹介しながらその危険性を啓発した。

ウ いじめの「認知」の仕方についての4校共通理解と行動による早期発見。

#### ② 教育相談担当部会

中学校進学に向け、学級編成資料を統一し、西中の学級編成の適正化を図った。

#### ③ 西中主催事業

新型コロナウイルスの感染予防の観点から、例年3小学校同時に実施していたものを資料等をもとに実施した。

### (2) 地域の連携（青少年健全育成水富地域会議や各校PTA）

#### ア 地域ぐるみのあいさつ運動

イ PTA4校連絡会の開催（本年度は中止）

## 4 成果と課題

「コロナに負けるな」を合言葉に地域に根付いた小中の滑らかな接続の実現を目指し、歩み続けたい。

- ・ 小中9年間のカリキュラムの連携・充実を推進して、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を進める。
- ・ 各部会のこれまでの取り組みを通して、児童が中学校入学時にスムーズに適応できる土台作りができてきている。
- ・ 4校の教職員が連携を一層強めることで、指導の一貫性を図ることができ、児童生徒が健やかに成長している。
- ・ 学校が青少年健全育成水富地域会議や4校PTAとの絆を一層深め、地域ぐるみの教育力を高めることができた。
- ・ 今後は、4校の児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現による学力向上に向けて、小中学校の各教科の教育課程のつながりについても教職員同士で共通理解と共同実践を強化することが喫緊の課題である。